

あこう



市議会だより

第169号



令和5年11月10日発行



2~7P

- ・9月定例会のあらまし・一般質問
- ・議案の議決結果・議員別賛否一覧

8~9P

- ・常任委員会等審査から・意見交換会 など

10P

- ・議会活動状況
- ・幹線道路・河川整備特別委員会現地視察
- ・11月定例会・常任委員会の日程(案)
- ・年賀状等挨拶状の禁止について
- ・編集後記

発行・赤穂市議会 編集・議会報編集委員会

赤穂市加里屋81 TEL 0791-43-6876 FAX 0791-43-6893

ホームページ

赤穂市議会

検索

市政の課題 将来の展望を



ただ
質す

9月21日(10名)、22日(5名)に計15名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。

ひとり親家庭の養育費の確保に係る支援について

安田 哲 議員



問 71.1%の母子世帯が養育費を受領していないことから、国は2031年までに母子世帯における全体の受領率を40%とし、養育費の取り決めをしている場合の受領率を70%とすることを目標として定めた。養育費の取り決めに必要な費用に対して助成制度を設ける自治体が増えている。赤穂市も早急に取り組むべき事業であると考え、市の見解を伺う。

その他の質問事項

- U・Iターン者を活用した施策立案について

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会を当分の間休止としたことについて

釣 昭彦 議員



問 令和2年2月17日の幹線道路・河川整備特別委員会にて国道250号・高取峠トンネルの事業化について4通りのルート候補案が公表されたが、本年7月31日開催の相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会で、トンネルの事業化を一旦休止とした。今後、高取峠トンネル化の要望をどう進める考えか伺う。

その他の質問事項

- 坂越地区における空家等活用促進特別区域(特区)と観光振興について
- 市民の声が多く寄せられる「市民の夕べ」の花火大会について

定例会のあらまし

令和5年9月(第3回)定例会を、9月5日から22日までの18日間にわたり開催しました。

この定例会において、報告案件、一般会計補正予算、人事案件等の6議案を審査し、1議案を賛成多数で可決、5議案について全会一致で可決、同意しました。

また、請願と意見書それぞれ1件の審議を行い、どちらも全会一致で採択、可決となりました。

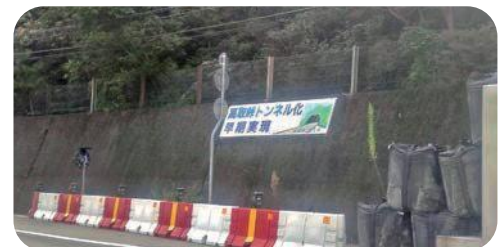
また、令和4年度の決算認定については、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査を行うこととしました。

※QRコードより、議員ごとに一般質問の様子を動画にて閲覧できます。

答 養育費の不払いの問題については、養育費が支払われないことにより、子どもの成長や生活に影響を与えかねないものと認識している。養育費確保のための支援については、現在、母子父子自立支援員が相談を受け、必要に応じて、養育費等相談支援センターや法テラス等につなぐなどの対策を講じている。養育費の取り決めに係る公正証書作成費用や養育費保証契約に係る費用の補助制度の導入については、今後国から示されることも大綱を踏まえ、検討する。



答 国道250号・高取峠トンネルの事業化については、これまで協議会や議会の意見等も伺いながら、県に要望してきたが、費用対効果の観点から中長期的な課題であると回答があり、未だに事業化のめどが立っていない。高取峠については、現在、県が実施している交通安全対策事業及び防災対策事業を優先して進めていくことが現実的であり、トンネルの事業化は中長期的な課題として取り組むこととし、協議会において一旦休止することを決定した。高取峠トンネルの事業化については、今後は赤穂市単独で特別委員会による要望活動を行っていききたい。



市内事業所への若者の就職促進と 人材確保について

中谷行夫 議員



問 若者人材と呼ばれる世代の労働人口の減少により、赤穂市内の企業にとっても従業員の欠員補充、事業拡大、将来の幹部候補の育成などの観点から人材確保が困難となっている。新規学卒者就職奨励金制度による就職支援、またUターン者を対象に転居費用や家賃を支援し、移住・定住に取り組むべきではないか。

その他の質問事項

- 市民のタベ（播州赤穂花火大会）の再開について
- 赤穂市技術職員の人材確保について

答 本市の事業所・企業の雇用状況について、地元から高校生などの若者がなかなか就職してくれないとの声を聞き、令和3年度及び4年度に播磨地域の高校に企業の情報提供を行った。また本年3月に上郡高校で企業説明会を開催し、8月に高校2年生を対象に市内の工場見学ツアーを開催した。これらの事業は市内企業の魅力を伝えるため継続して実施していきたい。新規学卒者就職奨励金については、県の奨学金返済制度の活用を市内企業に対し説明を行っているが活用例はない。市内企業へ就職した場合の市内への転居費用や家賃支援と併せて、就職の後押しとなるような制度の創設について今後も他市の状況や財政状況を踏まえ調査研究していく。



坂越地区の観光振興と 駐車場対策について

奥藤隆裕 議員



問 坂越地区の観光が盛んになっている。既存の駐車場のみでは需要に応えきれないため、観光客向けに坂越トンネル南側出口付近市有地を新たな駐車場として確保し、有料化する検討が必要である。

市がリーダーシップを発揮し、地域住民の意向を尊重しながら、持続的な発展のための適切な方針を立てるべきである。

答 坂越地区においては、誘客に伴う受け皿整備として駐車場を整備する必要があり、訪問者が市有地に駐車することにより、当該用地を起点とし、回遊され、滞在時間や観光消費額の増加も期待できると考えている。ふるさと海岸の県有駐車場を補完するものとして、当該用地の観光駐車場整備について、今後、検討を進めていく。また、有料化及び適正な料金設定については、整備や管理費用の財源として有用であるため、その手法等についても検討していく。



坂越湾の美しさに息をのむ



デジタル田園都市国家構想 交付金の活用について

荒木友貴 議員



問 デジタル技術と福祉や公共交通、観光、農業など行政の様々な分野を結びつける事業に対し国が積極支援するデジタル田園都市国家構想交付金を財源確保のためなぜ活用しないのか。県下30市町以上が既に活用し事業効果も高いが、本市は創意工夫し活用する気があるのか、活用するのであれば今後の取り組み方を伺う。

その他の質問事項

- アフタースクールの充実について
- 「物言わぬ市民」のニーズを把握する必要と方法の検討について 外

答 デジタル田園都市国家構想を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、各自治体が当該交付金を活用している。本市における行政のデジタル化については、その基盤となる基幹システムの標準化を最優先に取り組んでいる。基幹システムの標準化への対応を終えた後、市民サービスの向上と事務効率化に資するデジタル田園都市国家構想交付金の活用を図りたい。



少子化、地域力対策に 中・長期的生涯学習プログラムの策定を

家入時治 議員



問 コロナ前令和元年の婚姻数は154件、婚姻率は3.2で国、県より1.5も低い。令和4年度の出生数はわずか193人となった。少子化は子ども・子育て支援では限界がある。少子化・人口減少の実態を若者と共有し将来を考えるためプロジェクトチームを結成して、中・長期的生涯学習プログラムを策定し実行する考えはないか。

その他の質問事項

- 市民の夕べを中止したことについて
- 一般会計繰出し金を精査し市民の夕べの費用捻出を

答 本市の人口減少対策については、赤穂市総合戦略に基づく施策展開により、全市的に取り組んでいるため、「中・長期的生涯学習プログラム」を策定することは考えていない。しかし、赤穂市の取り組みを子どもから大人まで知ってもらう必要があるとの意見については、各施策及び事業を実施する中で、より市民に知ってもらえるような情報の伝え方や情報発信の仕方を工夫していく。



高齢者の外出支援について

前田尚志 議員



問 人生100年時代とも言われている今日、元気な高齢者をさらに増やしていくことが求められる。そのためにも積極的に外出できるような環境を整えていく必要があると考えるが、市として高齢者の外出支援の基本的な考え方は。また、外出支援の一つとして電動アシスト自転車の購入補助制度を設ける考えはないか。

その他の質問事項

- 道路整備の推進について
- 人口減少対策の取組について
- 小中学校屋内運動場（体育館）の空調設備の設置について

答 高齢者が積極的に外出することはフレイル予防や社会参加を促進し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることにつながると考えており、公共交通の活用や福祉施策による支援に加え、官民間問わず支援できる仕組みづくりに努めていく。電動アシスト自転車は車に代わる移動手段の一つとして考えられるが、車体重量も重く速度も出るため重大な事故につながる危険性もある。体力の衰えた方もおり、当該自転車の普及に伴う交通事故も年々増加傾向にあることから、購入補助制度については現時点では難しいと考えている。



赤穂市として市民病院の 維持に向けた取組について

田淵和彦 議員



問 人口減少は民間医療機関の存続にも影響する。地域の医療を考えると市民病院の存続は必要で、それには経営の安定が重要である。現在不在の病院事業管理者の配置について、不在のなか経営形態維持に向けた取組は機能しているのか、市民病院経営改善調査特別委員会で示した目標値の達成の有無、病床数の削減等について伺う。

その他の質問事項

- 市民参加型の夏のイベントについて
- 御崎観光駐車場の運営について
- 市民病院の経営改善に向けた取組について

答 病院の経営改善をさらに進めるため病院経営に精通した病院事業管理者の配置は必要であると考えている。赤穂市民病院経営検討委員会の提言を受け、現行の経営形態を維持するため、市長が先頭に立ち、院長をはじめ病院職員と一丸となり経営改善に全力で取り組んでいる。目標値の達成については概ね良好に推移しており、市長が目標達成に向け責任を持って経営改善に取り組む。病床数については、将来の医療需要を見据えながら病床数や病床機能の検討も必要と考えており現時点では西播磨地域の中核病院として引き続き現行の病床数で運営していく。



人生の最後を迎えるための準備である終活支援について

前川 弘文 議員



問 ひとり暮らしで頼れる身寄りがなく生活にゆとりがない高齢者等の葬儀・納骨などに関する心配事を早めに解決し、生き生きとした人生を送っていただく終活支援について、葬儀社等と連携して取り組んではどうか。また、終活専門の相談員を配置するなど、官民連携により希望する高齢者の終活支援に取り組んではどうか。

その他の質問事項

- 市独自のエンディングノートの作成と書き方講座の開催について
- 市内定住や就職を促進する奨学金返還支援制度について
- 道路や歩道の隙間から生える雑草対策について 外

答 終活支援については、高齢化の進展により、ひとり暮らしの高齢者が増加する中で、様々な不安を抱えている方が一定数おられることは認識している。現在、不安の解消に向けた相談対応については、地域包括支援センターや社会福祉課を中心に個々の状況を確認する中で、必要に応じて情報提供に努めている。葬儀社等との官民連携による終活支援については、今後の課題であると考えており、終活支援を希望する頼れる身寄りのない人等の実態を把握するため、引き続き関係部署等が連携を図り先行自治体の取組等を参考に

効果的な取組について調査研究していく。



AED収納箱にプライバシー保護等のための三角巾を配備することについて

南條 千鶴子 議員



問 目の前で倒れ反応がない人に対しては、直ちに心肺停止を疑うことが重要である。救急隊が到着するまでの救命処置が心肺蘇生とAEDであり、AEDシート使用時に、傷病者が女性の場合でも、ためらわず即時に使用するため、AED収納箱にプライバシー保護と応急手当にも活用できる三角巾を配備するべきではないか。

その他の質問事項

- 少子化対策につなぐ婚活支援について
- 花火大会の開催について
- 女性のがん検診(乳がん、子宮がん)の取組について 外

答 AEDは突然倒れた方などに対し、その場に居合わせた人が最も有効に使用できる医療機器の一つで、本体の電源を入れ音声メッセージに従いながら操作をすることができ、簡単かつ安全に電気ショックを行うことができる。素肌に直接AEDパッドを貼る必要があり、衣服を脱がせるなど不特定多数の人がいる場所では男女を問わず上半身に上着等をかけて肌を隠すなどプライバシーに配慮することが大切である。AED使用時の三角巾の使用方法も含め、消防本部が実施する救急講習会等において周知するとともに三角巾の配備について検討する。



パートナーシップ宣誓制度の導入への兵庫県の動きについて

深町 直也 議員



問 兵庫県が早ければ来年度にもパートナーシップ制度を導入する動きを見せている。これまでの議会でのパートナーシップ制度導入についての質問で、近隣市町の動向を踏まえるなど調査研究すると答弁していた赤穂市としては、今回の県の大きな動きを見てどのように動く考えか伺う。

その他の質問事項

- マイナンバー事業について
- 市民の夕べの再開について
- 現時点での新型コロナウイルス感染症対策について

答 本年6月、兵庫県において早ければ来年度にも制度を導入するという発表を受け、市も多様性の尊重や性的マイノリティの方の権利保護は重要であると考えていることから、利用者のメリットも考慮し、兵庫県の制度に参加する方向で考えている。市としては、今後兵庫県との協議の中で、性的マイノリティの方の安心感や社会的理解が進む制度となるよう求めていく。



市民所得等の調査・分析及び目標設定について

榊 悠太 議員



問 市として人口減少問題に取り組むことも重要であるが、市民一人一人の経済的な豊かさを追求することもまた重要である。兵庫県において、各市町の市民所得の調査が行われているが、市は調査・分析及び目標設定を実施する考えはないか。目標については、「市民所得倍増計画」と銘打って設定できないか。所見を問う。

その他の質問事項

- 金融教育について
- 安全安心な公共施設について

赤穂市における防災対策について

井田佐登司 議員



問 赤穂市地域防災計画の目的は『市民生活の安全・安心確保』である。災害時の安全・安心に関する市民意識を高め被害を少なくするために、南海トラフ巨大地震を見据えた防災対策を市民へ周知することが必要と考えるが市の見解を問う。

その他の質問事項

- タクシー及びバス乗り場の案内人の設置について
- 赤穂観光周遊バス「陣たくん号」運行の再開について
- 避難所での女性への対応について

赤穂城南緑地駐車場の増設について

瓢 敏雄 議員



問 品川リフラ赤穂市民総合体育館近くの城南緑地駐車場は、体育館や陸上競技場で大きなイベントがあると駐車場が不足しているのが実情ではないか。グリーンベルトを整備した時の経緯があるということで、これまで納得してきたが、社会情勢の変化とともに公園緑地行政も変遷しているのではないか。駐車場の増設に取り組むことができないか。

その他の質問事項

- 市民病院と兵庫県、大学医局との信頼回復について
- 市民病院の診察待ちのボードに患者番号を表示できないか 外

答 市民所得は一定期間において市内居住者の生産活動により、新たに付加された価値を貨幣価値で評価したもので、地域経済の実態を包括的に把握することができるものと認識している。現在のところ、市民を対象とした市民所得の分析は行っておらず、資産の実態についても調査が困難であるため、目標についても設定していない。現時点では、市民所得の分析や資産の実態調査、目標を設定する考えはないが、地域経済指標の一つとして、今後必要に応じて活用したい。



答 近年、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されている中、大規模地震だけでなく全国各地で自然災害が発生しており、本市においても大規模な災害がいつ発生してもおかしくないことは十分認識している。市民への周知については、ホームページをはじめ、市公式LINE、防災メール、防災行政無線、広報紙等を活用し日頃から防災対策への注意喚起を行っている。今後も災害への備えの重要性を周知していく。



**防災行政無線
確認電話番号
0120-969-711**

答 赤穂城南緑地へ来場した際には、品川リフラ赤穂市民総合体育館前の駐車場を利用いただいている。また、大会等で駐車場の混雑が想定される場合は、整理員を配置するほか、千種川河川敷を臨時駐車場として利用するなど対応しており、今後も同様に、適切に対応していく。なお、赤穂城南緑地は緩衝緑地として整備したものであり、今後とも必要であると考えており、樹木を伐採して駐車場を増設する考えはない。



城南緑地駐車場

県道高雄有年横尾線の整備について

山田昌弘 議員



問 県道高雄有年横尾線は赤穂市内と国道2号を結ぶ重要な連絡道路で、最近の事故によりその重要性が浮き彫りになった。計画では南側区間のバイパス化と北側区間の待避所設置があるが、北側も2車線化が必要である。これにより通行時間が短縮され、救急車両の通行も円滑になる。考えを伺う。

その他の質問事項

- 有年土地区画整理事業について
- 高齢者の移動手段の確保について
- 赤穂トラストホープ球場の利用促進について

答 山陽自動車道の事故による通行止めにより、市内幹線道路においても交通量に影響がみられ、県道高雄有年横尾線においても、普段では見られない交通流入が確認されている。県道高雄有年横尾線については、現在、南工区のバイパス工事が進められているところであり、北工区については、西播磨地域社会基盤整備プログラムにおいて、待避所設置と記載されているが、光都土木事務所との意見交換会の中で北工区も南工区と同様に道路の線形改良やバイパス整備の事業化を要望している。今後も引き続き県への要望を続けていく。



県道高雄有年横尾線

9月(第3回)定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 ※議員は議席順

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	深町直也	井田佐登司	南條千鶴子	荒木友貴	安田哲	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	山田昌弘	奥藤隆裕	家入時治	前川弘文	田淵和彦	瓢田敏雄	前田尚志	土遠孝昌
認第1号～認第10号	令和4年度赤穂市一般会計、5特別会計、4公営企業会計 歳入歳出決算認定について	決算特別委員会で継続審査																		
第58号議案	令和5年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号議案	令和5年度赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号議案	令和5年度赤穂市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第61号議案	赤穂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第62号議案	赤穂市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号議案	赤穂市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願審議結果																				
第3号	少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書審議結果																				
第2号	少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

9月(第3回)定例会報告案件

報告番号	件名
報第14号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
報第15号	令和4年度公益財団法人赤穂市文化とみどり財団の経営状況の報告について
報第16号	令和4年度赤穂駅周辺整備株式会社の経営状況の報告について

決算特別委員会を設置

令和4年度決算審査のため、9月定例会の2日目(9月8日)に決算特別委員会が設置され、正副委員長長の互選、審査方針などを決定しました。閉会中4日間決算特別委員会を開催し、適正な予算執行が行われているかについて審査を行いました。

委員長 家入 時治
副委員長 中谷 行夫
委員 山野 崇 南條千鶴子 荒木 友貴
// 奥藤 隆裕 前田 尚志

常任委員会等審査から(主な質疑)

民生生活

9月11日に開催し、付託された第58号議案関係部分など4議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<赤穂市介護保険特別会計補正予算について>

●問 通所型サービス事業に係る事業内容について

●答 1コース12回の3か月間の通所プログラムであり、リハビリテーション専門職による自宅で取り組む運動を中心に個別指導を行うほか、必要に応じて歯科衛生士による口腔機能向上プログラムや管理栄養士による栄養改善プログラムを実施する。

<赤穂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について>

●問 改正趣旨について

●答 本年6月に公布されたマイナンバー法等の一部改正法に伴い、現行の健康保険証が令和6年秋に原則廃止となりマイナンバーカードに一本化されることにより、自治体の独自制度である福祉医療助成等の事務については、個人番号を利用した情報連携による受給資格の確認を行うものである。

建設水道

9月12日に開催し、付託された第58号議案関係部分を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<道路橋梁維持費・道路橋梁維持修繕工事費外について>

●問 7月の豪雨による緊急を要する工事の対応について

●答 7月14日に市道八軒家古池線で斜面崩壊の通報を受け、土木課職員が現地を確認し、18日に業者による土砂の撤去及び防護網の応急補修を行い、28日から8月10日にかけて防護網の張替工事を実施した。

●問 工事箇所での定期的な状況確認及び計画的な修繕について

●答 落石防護網については、道路パトロール中に目視点検を行っており、八軒屋古池線については、計画的に老朽化した防護網の張替を行っている。

総務文教

9月13日に開催し、付託された第58号議案関係部分を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<普通交付税について>

●問 地域デジタル推進費の算定とマイナンバーカードの交付率との関係性について

●答 本年度より基準財政需要額の算定に加わったものであり、マイナンバーカードの交付率によって算定される。交付率の基準が65.02%に対し、5月末時点で本市の交付率は74.12%と基準より高いことから算定が加算となっている。

<特定教育・保育施設給付事業について>

●問 各施設への補助額及び補助金の算定方法について

●答 施設の定員数に応じて補助金を交付するものであり、例えば定員75名の認可保育所で27万円、定員5名の認可外保育施設で1.8万円となる。算定方法については、定員数10名単位で基準額が定められており、定員数に応じて補助金を支給する。

請願の審査(総務文教)

請願1件について慎重審査した結果、全会一致で採択すべきものとなりました。

<少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について>

- 請願項目にもあるように30人以下学級とすることは必要である。
- 義務教育費の国庫負担を現行の3分の1から2分の1へ引き上げることは必要である。



意見交換会の開催

開かれた議会への取組として、常任委員会と住民（団体）との意見交換会を次のとおり実施しました。

（建設水道委員会）

日時 令和5年8月17日（木）午前10時～
 テーマ 赤穂市の活性化に係るにぎわいづくりの取組について
 相手方 赤穂塩まつり実行委員会、えん結びプロジェクト実行委員会

（民生生活委員会）

日時 令和5年8月17日（木）午後1時30分～
 テーマ 認知症カフェの現状と課題について
 相手方 認知症カフェ及びチームオレンジ運営者

（総務文教委員会）

日時 令和5年8月18日（金）午後7時～
 テーマ 赤穂市各中学校における部活動指導員による部活動の現状と課題について
 相手方 赤穂市各中学校 部活動指導員

※当日いただきましたご意見等は市議会ホームページで公開しています。



常任委員会行政視察報告

（ホームページにも詳しく掲載しています）

総務文教委員会（7月25日～27日）

新潟県長岡市 ながおか市民防災センター

長岡市は過去の大規模な災害の経験から各種の先進的な機器を導入している。それにより避難情報の発令など迅速・的確な判断が可能となり防災力の強化に取り組んでいる。

新潟県長岡市 やまこし復興交流館おらたる

新潟県中越大震災から19年が経ち、震災を知らない世代が地震の教訓を伝えるという（知らない人が知らない人に伝える）状況が増えてきたため、2年前からメニューを変えた「減災プログラム」を行っている。

新潟県長岡市 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい

新潟県中越地震の経験を伝えるため、中越メモリアル回廊として4施設3パークあり、その1つとして運営している。ライフラインの遮断時を想定して、災害用備蓄品を最低3日分（都市部では7日分）備蓄するよう指導している。

新潟県三条市 三条市役所

三条市は地域公共交通の問題について、以前から積極的に取り組んでいる。AIオンデマンド交通の実装運行を行うことで、現状把握を行い問題・課題を抽出し、誰もが使いやすく地域の活力を支える地域公共交通の確立に向け、取り組んでいる。



ながおか市民防災センターにて

民生生活委員会（7月24日～26日）

三重県伊勢市 伊勢市健康福祉ステーションについて

誰もがアクセスしやすい場所、伊勢市駅前再開発ビル「MiraISE（ミライセ）」に、生活全般の課題をワンストップで受け止め支援につなげる拠点として、妊娠・出産期から高齢期まで世代・分野を越えて保健・福祉の切れ目のない包括的な支援を図るため開設している。

三重県いなべ市 元気づくりシステムについて

全国に先駆けて高齢者の健康づくりに取り組まれ、高齢者を対象に開発されたいなべ市の「元気づくりシステム」は全国的に高い評価を得て、広く全国各地で展開されている。住民の力を活用した「元気づくりシステム」の運用によって、高齢者を中心とした健康増進活動を進めながら、医療費抑制、医師負担軽減、地域活性化の対策を展開している。

滋賀県近江八幡市 近江八幡市立総合医療センターについて

近江八幡市立総合医療センターは、地方公営企業法全部適用により健全な経営がなされている。診療案内紙を持って開業医の訪問、定例医師会への参加、地域連携会議を年に1回開催し、近隣医療機関との顔が見える関係づくりをしている。また、経営にも看護師目線から5人の副看護部長が参事として参画している。



近江八幡市立総合医療センターにて

※議会運営委員会は8月8日～10日に予定していた山口県柳井市・萩市、岡山県高梁市への行政視察を台風6号の影響により中止とした。

議会活動状況 (令和5年8月～10月)

8月

- 2日・国民健康保険運営協議会
- 7日・兵庫県地方議会協議会（神戸市）
- 17日・建設水道委員会と「赤穂塩まつり実行委員会・えん結びプロジェクト実行委員会」との意見交換会
・民生生活委員会と「認知症カフェ及びチームオレンジ運営者」との意見交換会
- 18日・総務文教委員会と「赤穂市各中学校部活動指導員」との意見交換会
- 21日・兵庫県市議会議長会对国実行運動（東京都～22日）
- 28日・幹線道路・河川整備特別委員会
- 29日・議会運営委員会
・会派代表者会
- 30日・市民病院経営改善調査特別委員会
・安室ダム水道用水供給企業団議会（上郡町）

9月

- 5日・本会議[第3回定例会開会]
（報告・議案説明・人事案件等）
- 8日・本会議（議案質疑等）
- 11日・民生生活委員会
- 12日・建設水道委員会
- 13日・総務文教委員会
・会派代表者会
・議会運営委員会
- 21日・本会議（一般質問10名）
- 22日・本会議（一般質問5名・議案表決等）
[第3回定例会閉会]
・議会報編集委員会
- 28日・決算特別委員会（市民病院、上下水道部）

10月

- 2日・建設水道委員会協議会
- 5日・決算特別委員会（総務部、市長公室 外）
- 10日・静岡県焼津市議会行政視察（来庁）
- 12日・決算特別委員会（市民部、健康福祉部 外）
- 13日・近畿市議会議長会理事会、議長研修会（大津市）
- 16日・兵庫県市議会議長会对県要望活動（神戸市）
- 18日・議会報編集委員会
- 19日・決算特別委員会（消防本部、教育委員会）
- 27日・西播磨地域づくり懇話会（たつの市）
- 30日・議会報編集委員会

幹線道路・河川整備特別委員会現地視察

令和5年8月28日（月）、幹線道路・河川整備特別委員会を開催し、所管課から幹線道路及び河川整備状況の報告等を受けた後、今年度の取組について意見の取りまとめをし、国道2号相生有年道路（有年牟礼黒尾地区）の現地視察を行いました。

当委員会では、幹線道路・河川の整備に係る取組のほか、兵庫県等に対し要望活動などを行う予定です。



☆11月定例会・常任委員会の日程(案)☆

日	月	火	水	木	金	土
11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25
				(勤労感謝の日)	本会議(1日目)	
11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	12/2
	本会議(2日目)	民生生活委員会	建設水道委員会	総務文教委員会		
12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9
				本会議(3日目)一般質問	本会議(4日目)一般質問	
12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16
	本会議(予備日)					

※いずれも午前9時30分から開催予定です。
※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは休憩中を原則としています。

年賀状等挨拶状の禁止について

議員は、選挙区内の皆様に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候の挨拶状を出すことは禁止されておりますので、皆様のご理解をお願いいたします。

編集後記

- *日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。寒さも増してきておりますので、風邪など体調管理に気を付けましょう。
- *今月は9月（第3回）定例会の内容を中心にお知らせしました。

※表紙の写真は、早かごモニュメント（高取峠）です。